

☆TAC!! 公式アカウント 友達募集中☆

TAC公式LINEアカウントではTACの皆様が日々担い手に訪問する際に話のネタになる情報や営農技術関係の情報などを配信しています。
ぜひご登録ください！

■登録は右のQRコードからお願いいたします■



お知らせ

■本所耕種総合対策部 TAC・営農支援課

「TAC・出向く活動パワーアップ大会2025 地区別審査委員会」を開催（9／19・25）NEW

JA全農では、来る令和7年11月20・21日に新横浜プリンスホテルにて「TAC・出向く活動パワーアップ大会2025」を開催します。これに先立ち、9月19日～25日にかけて3地区（東日本・西日本・中四国九州）で地区別審査委員会を開催しました。

応募のあった事例はどれも甲乙つけがたく審査は非常に難航しましたが、厳正なる審査の結果、JA部門・TAC部門あわせて6つの事例が新横浜プリンスホテルでの最終審査に進出することとなりました。また、TAC部門では各地区2位、3位となった事例を地区別優秀賞として表彰し、本大会で事例発表をいただく予定です。

なお、TACトッランナーズJA※はJAレーク滋賀（滋賀県）、JA小松市（石川県）、JA北びわこ（滋賀県）、JA筑前あさくら（福岡県）が受賞、JA部門 米集荷特別表彰はJAあさひかわ（北海道）、JA小松市（石川県）、JA北びわこ（滋賀県）が受賞となりました。

各部門受賞者は以下のとおりです。

※JA小松市、JA北びわこ、JA筑前あさくらについては、本年度の特別措置による受賞となります。

TAC・出向く活動パワーアップ大会2025活動表彰 審査結果

【TACトッランナーズJA】

県名	農協名
滋賀県	レーク滋賀農業協同組合
石川県	小松市農業協同組合
滋賀県	北びわこ農業協同組合
福岡県	筑前あさくら農業協同組合

※小松市農業協同組合、北びわこ農業協同組合、筑前あさくら農業協同組合については、本年度の特別措置による受賞。

【JA部門 最終審査進出事例】

県名	農協名	地区
秋田県	秋田 なまはげ農業協同組合	東日本
静岡県	ハイナン農業協同組合	西日本
福岡県	筑前あさくら農業協同組合	中四国九州

【TAC部門 最終審査進出事例】

県名	農協名	氏 名	地区
福島県	ふくしま未来農業協同組合	蒔田 和也 氏	東日本
和歌山県	和歌山県農業協同組合	土谷 賢太郎 氏	西日本
熊本県	本渡五和農業協同組合	山下 清弥 氏	中四国九州

【T A C部門 地区別優秀賞】

県名	農協名	氏 名	地区
岩手県	岩手中央農業協同組合	米田 菜摘 氏	東日本
秋田県	秋田しんせい農業協同組合	佐々木 敬太 氏	東日本
石川県	金沢市農業協同組合	山本 智広 氏	西日本
滋賀県	レーク滋賀農業協同組合	中辻 秀章 氏	西日本
島根県	島根県農業協同組合	原田 裕幸 氏	中四国九州
愛媛県	越智今治農業協同組合	合田 光 氏	中四国九州

【J A部門 米集荷特別表彰】

県名	農協名
北海道	あさひかわ農業協同組合
石川県	小松市農業協同組合
滋賀県	北びわこ農業協同組合

■本所耕種総合対策部 T A C・営農支援課

「令和7年度県域T A C研修会(実践編)」を開催(9/26) NEW

本所T A C・営農支援課は9月26日、令和7年度県域T A C研修会(実践編)を開催し、約80名の受講をいただきました。今回は近年のT A C活動の課題に対するJ A・県域の取り組みとして、「T A C体制づくり」(J Aあさひかわ)・「T A Cミーティング」(J Aにじ・福岡県本部)・「人材育成」(滋賀県本部)・「担い手営農サポートシステム活用」(秋田県本部)をテーマに講義いただきました。各県の実践的な事例を共有いただき、T A C活動の強化につながるよい機会となりました。

研修内容はY o u T u b eで限定配信しております。U R Lは先日メールにてご案内のとおりですので、当日参加できなかった方も是非ご覧ください。

■本所耕種資材部施設園芸企画課

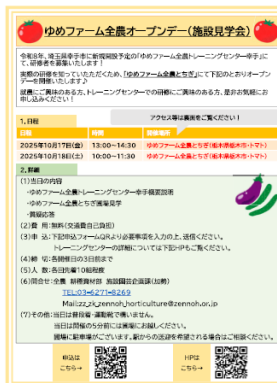
「ゆめファーム全農オープンデー @栃木」を開催(10/17-18) NEW

J A全農では埼玉県幸手市に「ゆめファーム全農トレーニングセンター幸手」を開設いたします(令和8年開設予定)。ここでは、施設園芸での新規就農を目指す方に約2~3年の研修期間で、トマト・ナス・キュウリの栽培技術と、労務・経営管理等の施設運営ノウハウを習得してもらいます。研修期間中は全農の臨時職員として給与を支給し、研修費用の負担はありません(※生活費、家賃等の支出を除く)。「新規に農業を始めたい」「本施設で研修を受けたい」などトレーニングセンターにご興味を持っていた方へ、実際に類似の施設をみていただきながら詳細な説明を行わせていただくため、「ゆめファーム全農オープンデー」を下記日程で開催します。

日程	時間	場所
2025年10月17日(金)	13:00~14:30	ゆめファーム全農とちぎ (栃木県栃木市/トマト)
2025年10月18日(土)	10:00~11:30	ゆめファーム全農とちぎ (栃木県栃木市/トマト)

そのほか詳細については下記に添付のチラシ・HPをご覧ください(担い手営農サポートシステムのナレッジ>新規就農・事業承継にも格納しております)。

HP : <https://www.zennoh.or.jp/about/research/horticulture/>



ゆめファーム全農オープンデー(施設見学会)

全農は、埼玉県幸手市に新設するゆめファーム全農トレーニングセンター幸手にて、施設見学会を開催いたします。研修期間中は全農の臨時職員として給与を支給し、研修費用の負担はありません。" data-bbox="141 720 315 890"/>



ゆめファーム全農 各場詳細

当日の集合時間や詳細な研修内容について、申込完了後メールにてご案内させていただきます。" data-bbox="325 720 505 890"/>

申込はこちら→



HPはこちら→



今後も都度HPやT A C通信・T A C L I N E等を用いてこまめに発信していきますので、引き続きよろしくお願いいたします！

■ＪＡ埼玉県担い手サポートセンター

「令和７年度 第５回ＪＡ営農担当者研修会」を開催（９／１１）

ＪＡ埼玉県担い手サポートセンターは関係機関と協力し、栽培技術及び施肥防除・品目知識・流通等に関する年間を通じた体系的研修会を開催しています（年間１０回コース）。第５回は、９月１１日新任のＴＡＣや営農指導員等２８名が参加し、鴻巣市の県種苗センターで開催しました。

「作物コース」では、ＪＡ全農さいたま営農支援課 上野技術参与から「水稻の登熟と収穫」の説明を受け、「収穫適期の判定方法」及び「登熟期間の気象障害」等を学び、高温障害を受けた稲穂（不稔粒）を実際手にとり確認しました。「野菜コース」の講義では、同じく営農支援課 阿見技術参与より「野菜の病害虫」の説明を受け、「病気の発生要因・防除方法」「害虫の種類・被害状況・防除・対策」等を学びました。年間１０回の研修を通じ、現場で指導にあたる ＴＡＣ や営農指導員の技術習得と生産現場での指導力を期待します。



【令和７年度 第５回ＪＡ営農担当者研修会風景】

■秋田県本部「高温対策に向けた圃場巡視会」を開催（９／４）

秋田県本部は９月４日に屋根散水導入による高温対策研修会を開催しました。屋根散水はハウスの屋根に少量多灌水し、水が蒸発する気化熱を利用してハウス上部の温度を下げる技術です。この技術は高温時期の花落ちを防ぐことにより収量減少を抑え、作業者の熱中症対策にも効果的と見込んで実証しており、秋には結果検証を予定しております。参集者であるＪＡ職員や県職員からは「最近では気象災害が多いため、研修会の学びを活かしたい」との声をいただきました。前段で県主催によるスイカ圃場での排水対策研修会も行っており、引き続き県とも連携しながら県内の園芸振興に資する取り組みを進めてまいります。



【高温対策に向けた圃場巡視会の様子】

■新潟県本部「ＴＡＣ等管理者・リーダー研修会」を開催（８／２９）

新潟県本部担い手・営農支援部は、８月２９日に「ＴＡＣ等管理者・リーダー研修会」を開催しました。午前の部は（有）真木農産にて、県内でも普及が進んでいる乾田直播に関する機械（ケンブリッジローラー、レーザーレベラー）や圃場を視察し、発芽率向上策や雑草対策などについて意見交換をおこないました。午後の部は市内のホテルにて、ＪＡ秋田しんせい農業経営支援室の佐藤室長より、金融・営農・販売の事業間連携を通じた経営改善・所得向上の取り組みについて講演いただきました。今後は、ＪＡ秋田しんせいの優良事例や乾田直播栽培などの取り組みを、県内ＪＡに水平展開をおこないます。



【ＴＡＣ等管理者・リーダー研修会の様子】

■岡山県本部「水稻高温対策試験」を実施（８／１８）

岡山県本部は８月１８日、ＪＡ岡山と共同でザルビオを活用した水稻高温対策試験を行いました。近年、夏季の異常高温による本県産米の外観品質低下（白未熟粒の多発）が懸念されています。対策として危険葉色を示す圃場への追肥が推奨される中、ＪＡ岡山では葉色に代わる新たな追肥指標として、ザルビオで観測したＮＤＶＩ値の活用を検討しました。

今回「にこまる」を対象に、幼穂形成期のザルビオＮＤＶＩ値を基に圃場に６か所の試験区を設置し、生育調査と追肥を行うことで、同時期のＮＤＶＩ値から白未熟粒の発生率の推定や、その発生の抑制の可能性等を検証し、追肥基準となるＮＤＶＩ値を特定していく予定です。

水稻の高品質生産に向けて生産者がザルビオを活用し、追肥判断を簡便に行えるよう、引き続き県内ＪＡと連携して試験に取り組めます。



【圃場での生育調査の様子】

■愛媛県本部「JA農業サポート実践会議」を開催（8／17）

愛媛県本部は県域の4連合会で組成しているJAグループ愛媛担い手サポートセンターを事務局として、8月27日に県内JAの営農部門と信用部門を対象とした、農業経営カードゲーム「農トレ」を一般社団法人Bridge for Fukushimaの講師を招いて開催しました。

当日は参加者自身が農業経営の全体像を感覚的に体験し、先を見据えた農業経営を支援していくことを目的に、シミュレーションカードゲームを使って楽しく考えながら経営スキルを学びました。

出席者からは「農業経営の難しさ・判断の大切さを体感することができた。」等、前向きな意見が多く、非常に好評でした。今後も事業間連携を図りながら、JAと一体となって担い手への推進強化に取り組みます。



【JA農業サポート実践会議の様子】

■AFJ日本農業経営大学校オンラインスクール

「経営マスターコース マーケティング」講座のご案内

AFJ日本農業経営大学校オンラインスクールは、2025年12月23日（火）～2026年3月25日（水）（全6回）の日程で、「マーケティング」講座を開催いたします。フレームワークの習得に加え、同じ課題を持つ全国の農業者とのディスカッション。そして自社の課題発見と講師によるフィードバックを通じて、基礎から学び、経営で活かせる思考力を身に付ける全6回の実践型カリキュラムです。

講師の詳細は本校HPでご確認いただけます。

<https://www.afj.or.jp/jaiam/onlineschool/marketing/>



■全農TAC・営農支援課「新・農業人フェア」開催のお知らせ

株式会社農協観光主催により、「農業を知りたい」「働きたい」「かかわってみたい」という気持ちをもつ全ての方を対象に、各自治体や農業法人等の就農支援情報及び求人情報を提供するとともに、農業への就農促進を図ることを目的に、国内最大級の就農イベント「新・農業人フェア」が令和7年8月～令和8年2月にかけて、東京及び大阪で開催されます。出展者や来場者を募集していますので、下記HPでご確認ください。

HP：<https://agri.mynavi.jp/shin-nogyojin>

日時	エリア	開催種別	会場
8/2（土）	東京	農業就職・転職LIVE	歌舞伎座タワー
9/15（月祝）	東京	農業EXPO	国際フォーラム
11/9（日）	大阪	農業EXPO	グランキューブ大阪
11/23（日）	東京	農業EXPO	東京ビックサイト
2/11（水祝）	東京	農業就職・転職LIVE	東京交通会館

※農業就職・転職 L I V E…農業法人の出席に特化した就農相談会
農業 E X P O……………日本全国の自治体、就農支援機関など各種団体がメインで出展（農業法人も可能）

技術情報

■農研機構 技術情報 食味に優れるカラムナー性の中生のリンゴ新品種「紅つるぎ」

（農研機構HPへリンク）NEW

今週は、食味に優れるカラムナー性の中生のリンゴ新品種「紅つるぎ」の研究成果を紹介します。

【概要】

わが国の農業従事者は減少し、リンゴの栽培面積も減少している。一方、国産リンゴの販売価格は上昇基調にあり、需要を満たすために生産基盤の強化が望まれるが、リンゴの栽培は労働集約的であり、果実生産システムの抜本的な改善が望まれている。「McIntosh」の枝変わりである「Wijcik」がもつカラムナー性（側枝が極端に短く円筒型の樹姿となる特性）は一般的なリンゴがもつ分枝型の樹姿と異なり省力栽培、機械化などスマート農業に適する特徴として期待されているが、既存品種並みの果実品質を示すカラムナー性のリンゴ品種は今まで育成されていなかった。そこで、カラムナー性をもち食味に優れたリンゴ品種を育成する。

※農研機構プレスリリース・普及成果情報は担い手営農サポートシステム「ナレッジ」18_（TAC広報・情報誌）にリンクを貼付しています。

（出典：農研機構HP 普及成果、研究成果より）

～全農は、農業現場が抱える課題の解決に向けて、農研機構と連携し、新技術・新品種の産地提案や実証試験を通じた普及推進に取り組んでいます～

■農薬研究室 技術情報 根こぶ病の防除について（アピネス／アグリインフォHPへリンク）NEW

今回は近年発生が多い、根こぶ病の防除について紹介します！

根こぶ病は、アブラナ科植物にのみで発病する病害です。被害拡大を防ぐために適切な防除を行いましょう。

担い手営農サポートシステム「ナレッジ」04_（農薬）にも格納してあります。

（出典：アピネス／アグリインフォHP 営農情報より）

農業労働力支援

■全農本所TAC・営農支援課 「全国労働力支援協議会」の開催

本所TAC・営農支援課では、全国6ブロックに設置したブロック別労働力支援協議会での協議を踏まえ、農業労働力支援を通じた地方創生・地域活性化を目指す「全国労働力支援協議会」を令和4年3月に設立し、設立以降毎年開催しております。

6ブロックの協議会（北海道、東北、関東甲信越、北陸東海近畿、中国四国、九州）と、全中、全共連、農林中金、全農およびパートナー企業を構成団体とし、オブザーバーとして農水省他関連省庁や関係企業等にも参加いただいています。

今後、本所TAC・営農支援課は協議会を通じて、①農業への多様な人材の活用促進、②農業以外の他産業との連携促進、③後継者誘導しやすい環境づくりの促進を目指し、農業だけでなく地方が抱える課題の共有と解決に向けた取り組みを進めます。

■全農本所TAC・営農支援課 「91農業」の提唱

本所TAC・営農支援課は、様々な方々に農業参加を促す新たなライフスタイル「91農業」を提唱しております。

他産業・一般の方々に向けて、①農業へのハードルを下げて農業参加を訴求すること、②パートナー企業連携による農作業請負の取り組みを広く周知すること、等を目的として「あなたのライフスタイルに農的生活を1割取り入れませんか？」をコンセプトに、少しでも多くの方が農業に関われるような環境を目指して全国労働力支援協議会とも連携しポスターやHP等でPR活動を進めています。



- 9本業1農業：休みの日に1日農業、新しい副業の形
- 9育児1農業：子育てしながら一時期に農業、新しいパートの形
- 9旅行1農業：旅行の1日に農業、新しい旅行の形
- 9夢追1農業：夢を追いながら一時期に農業、新しいバイトの形
- 9自宅1農業：家以外に居場所が一つ増える、新しい就労支援の形

事業承継

■全農本所TAC・営農支援課 「事業承継支援 虎の巻」のご案内

全農本所TAC・営農支援課では事業承継ブックを活用した事業承継支援にかかるTACの技を収集し、全国のTACの皆様に「達人の極意」として共有いただけるよう「事業承継支援 虎の巻」を発信しています。

あなたの「技」を全国のTACへ伝授いただけませんか？伝授についてのご相談は県域TAC部署を通じて本所TAC営農支援課にご連絡ください！

担い手営農サポートシステム「ナレッジ」17_（新規就農・事業承継）にも格納済みです。ご活用ください。

■全農本所TAC・営農支援課 「Z-GISで効率的な事業承継の実現を！」のご案内

全農本所TAC・営農支援課では訪問チラシ「Z-GISで効率的な事業承継の実現を！」を作成しています。Z-GISの推進および事業承継の啓発の際にご活用ください。[こちら](#)からご確認ください。

■全農本所TAC・営農支援課 「JAグループにおける事業承継ブック親子版を活用した事業承継支援の手引き」のご案内

全農本所TAC・営農支援課ではJA全国担い手サポートセンターと連携し、JA等職員に「事業承継ブック親子版」を一層活用いただくべく取り組みポイントを整理し、支援の具体的なイメージが理解できるよう手引きを作成しています。

ご一読いただき皆様の事業承継支援の取組の後押しとなることを願っています。

手引きは、担い手営農サポートシステム「ナレッジ」17_（新規就農・事業承継）にも格納済みです。

■全農本所TAC・営農支援課 事業承継啓発チラシ親子別Ver.のご案内

全農本所TAC・営農支援課は、事業承継啓発に係るツールとして親子で別々に活用できるチラシを作成しています。このチラシは「初めて親、子の意向の聞き取る際に親と子で別々にアプローチすると進めやすい」というTACの声をもとに作成しました。個別ヒアリング後、内容を親子で共有する場をつくることで、以後の経営者と後継者の話し合いのきっかけとなるよう事業承継を提案する最初の一步目のツールとして使いやすいものとなっていますので、担い手訪問の際に持参していただければと思います。

チラシデータは担い手営農サポートシステム「ナレッジ」17_（新規就農・事業承継）にも格納済みです。

■事業承継ブック（部会版）発行・配付

本所TAC・営農支援課は「事業承継ブック～産地全体の話し合いのきっかけに～」（事業承継ブック部会版）を発行し全農HPで公開しています。是非、各県でのTAC活動を通じて活用をよろしくお願いします。

全農 HPは[こちら](#)

■事業承継ブック（集落営農版）発行・配付

本所TAC・営農支援課では各県からの意見に基づき、「事業承継ブック～世代を超えた話し合いのきっかけに～」（事業承継ブック集落営農版）を発行し全農HPで公開しています。是非、各県でのTAC活動を通じて活用をよろしくお願いします。

全農HPは[こちら](#)

Z-GIS

👏！！Z-GIS の動画のご紹介！！



全農本所スマート農業推進課が、新たにZ-GISの動画を1編作成しました。計3篇を公開しますので県やJA・生産者のへの導入、展示会等のPRにぜひご活用ください。

Z-GISスタートアップガイドは[こちら](#)
Z-GISユーザーインタビューは[こちら](#)
Z-GISユーザーインタビュー2020は[こちら](#)



■本所スマート農業推進課 ～スマート農業の先進事例を見てみよう！～「Z-GIS・ザルビオ活用ガイド2023／2024」を発行（ご案内）

本所スマート農業推進課では、Z-GIS・ザルビオの利用促進、さらなる普及拡大を目的に、令和元年度のZ-GIS導入ガイドから始まり、令和4年度は「Z-GIS・ザルビオ活用ガイド2023／2024」を発行しました。

各システムのユーザーである全国の生産者、JAにインタビューを実施し、計8事例掲載しております。また、ガイドの冒頭2ページに、Z-GIS・ザルビオを導入いただいたユーザーのスタートアップを支援するため、利用登録から圃場・作付登録までの手順を掲載しております。

冊子をご要望の方は、本所各営農資材事業所、本所スマート農業推進課までご連絡ください。また、Z-GISホームページや担い手営農サポートシステム「ナレッジ」15_（スマート農業・ICT）でもPDF版を公開しております。

活用ガイド2023／2024は[こちらから](#)ご覧いただけます。

人材育成（TACアグリビジネススクール、他各種研修資料等）

■本所TAC・営農支援課 令和7年度TACアグリビジネススクール開催スケジュールのご案内

令和7年度のTACアグリビジネススクールについて、日程が決定いたしましたので下記の通りご案内いたします。

※第8～10回で開催時間の変更がありましたので、ご確認ください！ 2025/7/9 更新

回	日程	時間	テーマ
1	6／3（火）	10：00～15：00	農業を取り巻く情勢・取り組み
2	7／9（水）	10：00～15：00	生産資材・技術情報①
3	8／5（火）	10：00～15：00	農業労働力支援・相続・事業承継
4	9／3（水）	10：00～15：00	農業現場における労務管理・会計基礎
5	10／8（水）	10：00～15：00	会計・税務研修①
6	11／5（水）	10：00～15：00	会計・税務研修②
7	12／3（水）	10：00～15：00	会計・税務研修③
8	1／7（水）	10：00～15：00	総合事業連携の取り組み
9	2／4（水）	10：00～15：00	生産資材・技術情報②
10	3／4（水）	10：00～15：00	販売強化の取り組み

※日程やテーマは会議室・講師の都合により変更する場合があります。

■本所TAC・営農支援課 TACアグリビジネススクール収録動画の格納について（ご案内）

本所TAC・営農支援課は開催した「TACアグリビジネススクール」の講義内容の動画をYouTubeに限定公開しています。

動画URL・講義資料は担い手営農サポートシステム「ナレッジ」13_（会議・研修・手引き資料）にも格納済みです。

■「TACの手引き」、「TAC担い手訪問ハンドブック」

TACの意義や導入目的、取組の進め方など、TACの導入から運用に至るまでを網羅する「TACの手引き」と、担い手訪問のノウハウをまとめた「TAC担い手訪問ハンドブック」について担い手営農サポートシステム「ナレッジ」13_（会議・研修・手引き資料）に掲載しました。ご活用ください。

貸出資材

■全国共通資材の貸出

○のぼり、ハッピー、テーブルクロス

貸出申請書は、担い手営農サポートシステム「ナレッジ」18_（TAC 広報・情報誌）22_（店舗・イベント）に格納されています。

○提出先：zz_zk_tac@zennoh.or.jp

◎必ずクリーニングをして返却してください◎

◎返却の送料は貸出先にご負担いただきます◎

○タペストリー

本所TAC・営農支援課は「TACパワーアップ大会2024」の開催にあわせ、TACタペストリー一覧を更新しました。イベント時などにご使用ください。

なお、使用時は「TACタペストリー貸出しマニュアル」のご一読をお願いします

○提出先：zz_zk_tac@zennoh.or.jp

※担い手営農サポートシステム「ナレッジ」12_（パワーアップ大会・営農指導員大会）に投稿済

経営相談

※無料ですので、積極的にご活用ください！！

■担い手対応の経営相談

担い手を対象として経営に関する相談を行っています。経営に関する税務の疑問・質問がありましたら、県域TACまで連絡ください。

■農業経営支援に関する役立つ情報を配信します！

農業経営支援に関する役立つ情報をTAC通信、TAC LINEで配信をしていきます！
実際に合った事例や、過去の対応・決算データ等を基に現場のTACに分かりやすい形でお届けします。

◆記事はこちらから  [Click here](#)

◇今後の配信スケジュール

TAC通信（毎月第4水曜日掲載）／TAC LINE（毎月末配信）

配信月 | テーマ

○ 節税のポイント！を全5回シリーズで解説！
5月 農地の取得・保有・譲渡編
6月 設備投資編（スマート農業、環境負荷軽減）
7月 青色申告編－①
8月 青色申告編－②
9月 法人化編
○ 事業承継支援に向けた担い手の経営税務に係る チェックポイントを全5回シリーズで解説！
10月 集落営農法人の事業承継
11月 個人親子間
12月 法人親子間
1月 個人第三者承継
2月 法人第三者承継
○ これだけはおさえておきたい！インボイスを解説！
3月 経過措置への対応策について

◆アンケートはこちらから！

農業経営支援に関する上記の記事の感想、今後取り扱ってほしいテーマなど皆さんのお声を気軽にお聞かせください！

担い手営農サポートシステム関連情報

■担い手営農サポートシステムの利用申請について

利用申請（新規、再登録、削除）については、Web上で実施していただきます。

（URL：<https://zennoh.my.site.com/entry>）

以下登録の手順をお知らせいたします。

- ①上記URLを開き、必要事項を入力
- ②入力内容を確認し、利用規約に同意する
- ③入力した内容が記載されたPDFがダウンロードされる
- ④申請情報で入力したアドレス宛に申し込み完了メールが送信され、PDFアップロードリンクが記載されている
- ⑤ダウンロードされた担い手サポート管理システム申請書PDFを印刷し、「情報機器管理者」「管理者」「担当者」欄に押印する
- ⑥PDFアップロードリンクに押印したPDFをスキャンしてアップロードして完了
- ⑦ヘルプデスクが入力内容を確認し、問題なければ、アカウント発行処理が実施される

詳細は担い手営農サポートシステムのナレッジに格納しております。

（ナレッジURL：https://zennoh.lightning.force.com/lightning/r/Knowledge_kav/ka02x000000WRyxAAG/view）

※ナレッジは担い手営農サポートシステムユーザーのみ閲覧可能です。

■ヘルプデスク連絡先

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-5 リンクスクエア新宿9階

株式会社 全農ビジネスサポート

担い手営農サポートシステムヘルプデスク

TEL：03-3350-1157

Eメール：ninaite-help@z-bs.co.jp

ランキング集計

【 9月 】月間ランキング

JA別-面談記録登録状況

TAC一人当たり面談記録登録状況

(訪問期間:2025/09/01 ~ 2025/09/30)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JAレーク滋賀	2,020	66	30.6
2	JA兵庫南	1,537	14	109.8
3	JA仙台	1,434	41	35.0
4	JA常総ひかり	1,211	16	75.7
5	JAフルーツ山梨	1,208	27	44.7
6	JA金沢市	1,190	26	45.8
7	JAさいたま	1,002	14	71.6
8	JA南彩	978	11	88.9
9	JA岡山	946	31	30.5
10	JAむなかた	870	12	72.5

(訪問期間:2025/09/01 ~ 2025/09/30)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA福岡大城	164	1	164.0
2	JA粕屋	316	2	158.0
3	JAよこすか葉山	813	6	135.5
4	JAなす南	497	4	124.3
5	JAしおのや	614	5	122.8
6	JA越谷市	113	1	113.0
7	JA兵庫南	1,537	14	109.8
8	JAあさか野	541	5	108.2
9	JA足利	199	2	99.5
10	JA南彩	978	11	88.9

★担い手営農サポートシステムの面談記録数（業務種別：担い手対応）を集計

★10月7日登録までの集計

【 9月22日 ~ 10月5日 】週間ランキング集計

JA別-面談記録登録状況

TAC一人当たり面談記録登録状況

(訪問期間:2025/09/22 ~ 2025/10/05)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JAレーク滋賀	919	57	16.1
2	JA兵庫南	694	13	53.4
3	JA仙台	520	35	14.9
4	JA常総ひかり	510	16	31.9
5	JAフルーツ山梨	481	26	18.5
6	JA金沢市	463	23	20.1
7	JAさいたま	430	14	30.7
8	JAみえきた	385	14	27.5
9	JAむなかた	363	12	30.3
10	JA南彩	355	10	35.5

(訪問期間:2025/09/22 ~ 2025/10/05)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA福岡大城	58	1	58.0
2	JA兵庫南	694	13	53.4
3	JAしおのや	265	5	53.0
4	JAなす南	209	4	52.3
5	JAふくおか八女	104	2	52.0
6	JA足利	99	2	49.5
7	JAさいかつ	196	4	49.0
8	JAよこすか葉山	292	6	48.7
9	JA粕屋	97	2	48.5
10	JAしまね 島根おち地区本部	47	1	47.0

★担い手営農サポートシステムの面談記録数（業務種別：担い手対応）を集計

★10月7日登録までの集計

最近のメディア

○スマート農業情報

[ザルビオユーザー事例 秋田県 伊藤譲](#)

[ザルビオユーザー事例 香川県 横関さん](#)

※担い手営農サポートシステム「ナレッジ」15_（スマート農業・ICT）に格納

○グリーンレポート9月号

[JAと連携した農業普及活動～なし園での天敵利用を核としたIPMの取り組み～](#)

[営農アシスト～「グリーンメニュー」の普及に向けて～](#)

○経営実務7・8月号 NEW

[いまこそTACだ！！ 北海道 JAあさひかわ 佐藤航紀氏](#)

[いまこそTACだ！！ 神奈川県 JA湘南 濱端興樹氏](#)

[いまこそTACだ！！ 神奈川県 JAよこすか葉山 安藤秋徒氏](#)

○地上11月号

※「地上」の公式HPは[こちら](#)から。NEW

○全農ウィークリー

[2025年10月6日 \(vol.1123\) NEW](#)

※TAC活動の紹介等で転載する場合は申請不要です。

○OAGRI FUTURE

[No. 110 \(JAわかやま\) 発行 \(6/25\)](#)

◆生産者の声：新しょうが／すもも／南高梅（なんこううめ）

◆クローズアップ：新しょうがレシピ

◆地域百景：日本一の梅ブランド／和歌山県の「すもも」

フリーペーパー：各県域TAC部署へ送付 HPは[こちら](#)

○全農HP

- [J A全農とJ R西日本の地域振興支援プロジェクト「みのりみのるマルシェ 佐賀の実り」を開催](#) **NEW**
- [「2025 WTTスマッシュ中国」が開幕！J A全農が卓球日本代表選手の皆さんをサポート](#) **NEW**
- [辻発彦氏・鳥谷敬氏ら元プロ野球選手が直接指導！J A全農WCBF少年野球教室を開催](#) **NEW**

○農業協同組合新聞

- [25年産米「56万t増をさらに上回る可能性」 小泉農相が言及](#) **NEW**
- [米の需給「緩和」の見通し増える 米穀機構調査](#) **NEW**
- [低温糊化性でん粉原料用 サツマイモ新品種「こなみらい」育成 農研機構](#) **NEW**
- [スペイン産牛由来製品等 輸入を一時停止 農水省](#) **NEW**
- [米のコスト指標 来年4月作成に向け関係者が会合](#) **NEW**
- [米価 4週連続 5kg4000円台](#) **NEW**
- [多収でサツマイモ基腐病などに抵抗性 原料用サツマイモ「コガネタイガン」育成 農研機構](#) **NEW**
- [アジアモンスーン地域の生産力向上と持続性を両立「技術カタログ Ver.4.0」公開 国際農研](#) **NEW**
- [みどり戦略対策に向けたI P M防除の実践（79）【防除学習帖】第318回](#) **NEW**
- [農薬の正しい使い方（52）【今さら聞けない営農情報】第318回](#) **NEW**
- [【サステナ防除のすすめ2025】施設トマト病害虫対策 換気×生物農薬で持続的管理を](#) **NEW**
- [米の高温耐性品種 作付20.6万ha 前年比2.5万ha増 24年産](#) **NEW**
- [中四国・関東で6～7割 将来受け手ない農地 地域計画](#) **NEW**
- [「食料システム法」計画認定制度の運用開始 持続可能な食料供給に取り組む事業者を支援 農水省](#) **NEW**
- [外食市場調査8月度 2019年比91.8% 2か月連続で回復傾向](#) **NEW**
- [生産費上回る手取りを保証 米の新たな契約手法 14県で実施 全農](#) **NEW**
- [【サステナ防除のすすめ2025】水田の刈り跡管理 多年生雑草の効率的防除を](#) **NEW**
- [被害続発 「米の偽サイト」消費者庁が注意喚起 記載の住所に行ってみると](#) **NEW**
- [「J A米」を環境負荷低減米に 26年産から取り組み 全農](#) **NEW**
- [農研機構 食品研究関連施設の供用を開始](#) **NEW**
- [輸出額 1～8月で1兆円超 パックご飯4割増](#) **NEW**
- [食品取引適正化へフードGメン 18名体制で発足 10月1日 農水省](#) **NEW**
- [随契米 確定数量27万9000t 906社が販売 農水省](#) **NEW**
- [10月の野菜生育状況と価格見通し トマト、たまねぎなど平年を上回る見込み 農水省](#) **NEW**
- [【スマート農業の風】稲の収穫機と進化ロボットコンバイン](#) **NEW**
- [サツマイモ新品種3種「コガネタイガン」「こなみらい」「はなあかね」開発 農研機構](#) **NEW**
- [有機酒類の輸出入 10月1日から可能に 農水省](#) **NEW**
- [農薬の正しい使い方（51）【今さら聞けない営農情報】第317回](#) **NEW**
- [労働時間7割減も 節水型乾田直播でシンポ 農水省](#) **NEW**
- [病害虫発生情報](#)

※ 本リンクは、インターネット上にある新聞や各種情報のうち、TAC・営農支援課が担い手に関係する内容を収集して作成しています。

全農本所 耕種総合対策部 TAC・営農支援課

TEL:03-6271-8276

FAX:03-5218-2535

mailto:zz_zk_tac@zennoh.or.jp



HP

TAC・出向く活動パワーアップ大会 2024「大会宣言」

我々TACは、

- 一、担い手の声に寄り添い、
J Aグループの力を発揮し、真摯に応えます。
- 一、担い手とともに、
「地域農業」と「食」の未来を守り続けます。
- 一、TACなど訪問活動の輪を広げ、
新たな可能性に挑戦していきます。

★第2・第4水曜を基本に定期配信します（水曜日が祝日の場合は休刊します）★

※お休み等で配信日が変更となることもございます。ご了承ください。